

# 福井県の農林水産業の概要

## 特徴・取組

福井県は、嶺北(れいほく)と嶺南(れいなん)に分けられる。  
 嶺北東部は高い山々が連なり、その河川流域では、盆地や平野が形成されている。嶺北北部も高い山々が連なっているが、北西に向かって低くなり、あわら市と坂井市の北部にまたがる坂井北部丘陵地や、海岸線沿いに広がる三里浜砂丘地が形成されている。  
 嶺南は、リアス式海岸線で、小さな平野が細長く続いている。  
 海岸沿いは、対馬海流の影響を受け、冬でも比較的暖かく、雪の量もそれほど多くない。

福井県の主な産業としては、合繊織物を中心として総合産地を形成している繊維産業をはじめ、機械産業、眼鏡産業(眼鏡枠は全国生産の約90%)等がある。一方、県内には15基の原子力発電所があり、関西経済圏へのエネルギー供給基地となっている。

福井県発祥のコシヒカリを中心とした水稲のほか、作付面積、収穫量ともに全国1位の六条大麦をはじめ大豆、そばが本格的に生産されている。また、メロン、すいか、らっきょう、うめなども作付けられているほか、平成28年「吉川ナス」、「山内かぶら」、平成29年「上庄さといも」、「若狭小浜小鯛ささ漬」、平成30年「越前がに」がG Iに登録されている。

福井県は、みどりの食料システム法に基づく環境負荷低減に取り組む計画認定者数が全国1位(令和8年1月末時点)。

農林水産業の地域課題の解決と付加価値の創造に資する官民共創による事業創出を目的としたプラットフォームとして、全国に先駆けて、令和7年7月に「福井県 農林水産 地方創生センター」を設立した。

また、福井県は食育の先駆けの地とされ、これは、本県出身で陸軍薬剤師であった「石塚左玄」が、日本で初めて食育という言葉を書き表したことに由来する。中でも、小浜(おばま)市では「御食国(みけつくに)若狭おばま」として、食のまちづくり条例を制定し、市全体で食育を推進している。

福井県は恵まれた海域環境の中で、定置網、底曳網等の漁業やとらふぐ、まだい等の養殖業が営まれ、全国で唯一、皇室へ献上している越前がに、若狭かれい等をはじめ、若狭ふぐ、日本三大珍味のひとつである越前うに(塩うに)など、多くの特産品がある。

また、平成31年2月に「三方五湖の汽水湖沼群漁業システム」が日本農業遺産に認定されている。

## 主な農林水産物

### 水稲

全国の作付面積1位を誇る「コシヒカリ」は、福井県が発祥。

新品種「いちほまれ」は暑さに強く、食味も良い。



### 六条大麦

全国でも有数の産地。ご飯に混ぜて食べる押し麦などに利用。

(作付面積・収穫量全国1位)



### そば

良食味の在来種にこだわり、古来より受け継がれた「種」を守り栽培。

(収穫量全国4位)



### トマト

県が育成した品種「越のルビー」は、大玉トマトとミニトマトの中間のちょうど良い大きさ。糖度が高く、ビタミンCも豊富。



### うめ

果肉が厚く高品質の福井梅。代表品種は、梅干し用の「紅映(べにさし)」と梅酒に使う「剣先(けんさき)」。

(収穫量全国8位)



### メロン

丘陵地や砂丘地を主体に最も多く作付けされている「アールスメロン」は、贈答用として重宝。



### らっきょう

小粒で身が締まり繊維が細かく歯切れの良いのが特徴。2度冬を越す「三年子(さんねんご)」は福井ならではの栽培方法。

(収穫量全国6位)



### スイセン

「越前水仙」は、花がひきしまり、香りが強く、日持ちと草姿が良い。華道家にも人気が高く全国へ出荷。



### さといも

「奥越の里芋」は知名度が高く、小ぶりで身が締まり固くて煮崩れないのが特徴。中でも、上庄地区で栽培されるものは、「上庄さといも」としてG I登録されている。



### ずわいがに

G I産品である「越前がに」が有名。漁獲後水揚げまでの間冷温で保管されるため、鮮度が良く、身質が良い。福井県により100年以上にわたり皇室に献上されている。  
(漁獲量全国3位)



# 福井県内の各地域における農林水産物

## 県全域

### 【農畜産物】

水稻：代表品種

①コシヒカリ②ハナエチゼン③あきさかり④いちほまれ

六条大麦、そば、大豆、大玉トマト、中玉トマト、ねぎ、ブロッコリー

畜産：若狭牛(肉用牛)、ふくいポーク(豚)、福地鶏、鶏卵

### 【林産物】

すぎ、あかまつ、くろまつ、しいたけ、香福茸(しいたけ)、えのきたけ、

ひらたけ、木炭

### 【水産物】

越前がに(ズワイガニ)、さわら類、ふくいサーモン(ます類)、ブリ類

## 嶺北(れいほく)地域

### 【農産物】

だいこん、にんじん、キャベツ、ほうれんそう、すいか、メロン、かぶ、上庄さといも、たけのこ、とみつ金時(さつまいも)、らっきょう、スイセン、きく、日本なし、かき、なつめ

### 【林産物】

九頭竜まいたけ(まいたけ)、なめこ、越前オウレン(※)

### 【水産物】

ふくい甘えび(ホッコクアカエビ)、越前うに(バフンウニ)

越前がれい(アカガレイ)、あゆ

※オウレンは、日本原産の多年草で、山林の下に自生しており、薬用として根茎が利用されている。

## 嶺南(れいなん)地域

### 【農産物】

うめ、イチジク、きゅうり、そらまめ、レタス、いちご、みかん

### 【林産物】

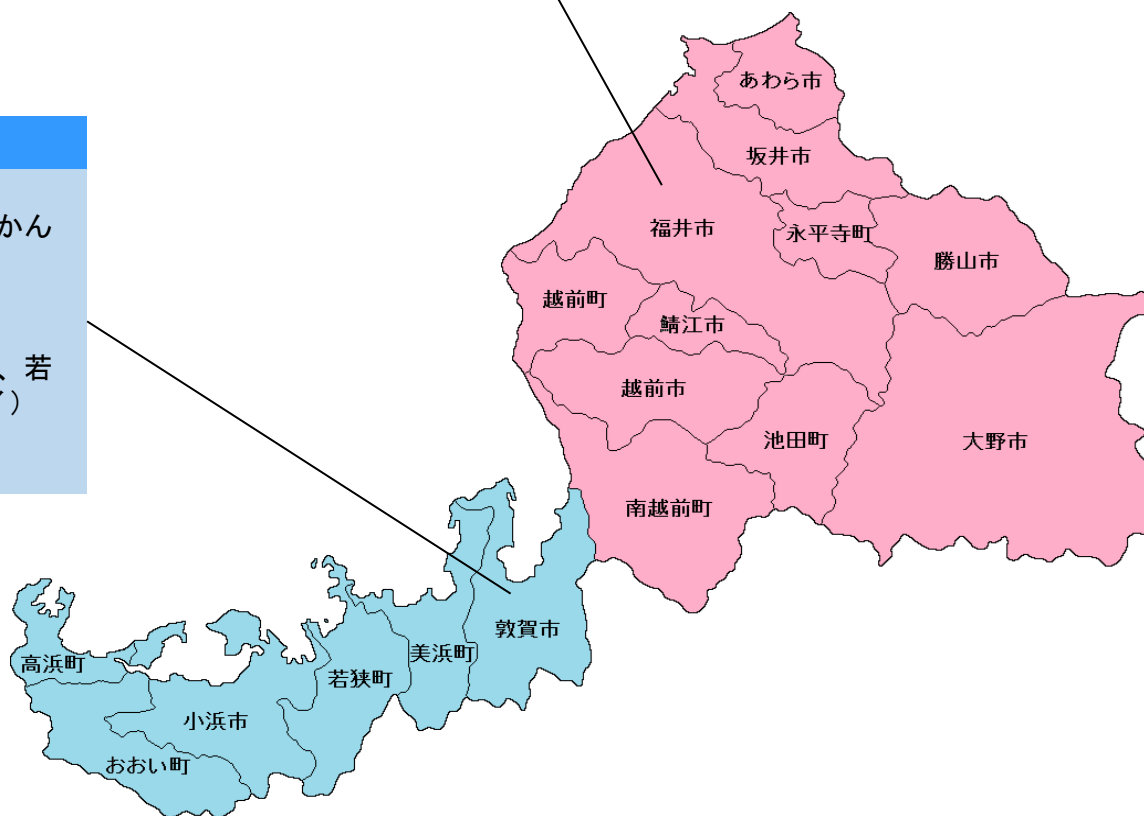
研磨炭(木炭)、つばき油、熊川葛

### 【水産物】

若狭ふぐ(養殖トラフグ)、まだい(養殖)、若狭まはた、若

狭ぐじ(アカアマダイ)、若狭がれい(ヤナギムシガレイ)

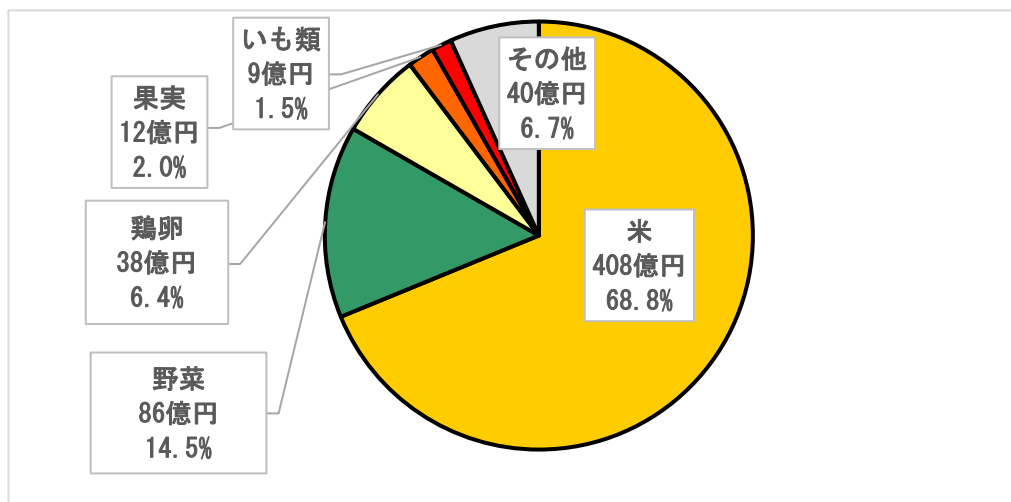
カキ類(養殖を含む)



# 福 井 県 の 農 業 ( 1 )

- ・ 農業産出額は593億円で全国44位。うち米が408億円 (68.8%)、野菜が86億円 (14.5%)、畜産が60億円 (10.1%)。
- ・ 農畜産物の生産状況は、六条大麦が全国1位、そばが4位、らっきょうが6位、うめが8位、非結球レタスが9位。

## 農業産出額の概略



## 農畜産物の生産状況

区 分	年次	福 井 県	全 国	全国順位	
水稻	収穫量	R7	130,300 t	7,790,000 t	22
六条大麦	収穫量	R7	16,700 t	59,000 t	1 *
そば	収穫量	R6	2,440 t	40,400 t	4 *
ほうれんそう	収穫量	R6	577 t	189,900 t	32
さといも	収穫量	R6	2,890 t	118,900 t	11
ブロッコリー	収穫量	R6	428 t	160,500 t	32
メロン	収穫量	R6	580 t	137,500 t	11
うめ	収穫量	R6	746 t	51,600 t	8
らっきょう	収穫量	R4	215 t	6,700 t	6
非結球レタス	収穫量	R4	1,720 t	73,400 t	9

出典: 「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「地域特産野菜生産状況」

## 農業産出額のデータ

区 分	福井県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	593 億円 (100.0)	107,801 億円 (100.0)	44
米	408 億円 (68.8)	25,524 億円 (23.7)	21
麦類	x 億円	582 億円	- *
雑穀	6 億円	87 億円	2
豆類	2 億円	621 億円	22
いも類	9 億円	2,565 億円	26
野菜	86 億円 (14.5)	25,510 億円 (23.7)	46
果実	12 億円 (2.0)	10,112 億円 (9.4)	46
花き	4 億円	3,423 億円	47
工芸農作物	0 億円	1,577 億円	44
その他作物	x 億円	583 億円	- *
畜産	60 億円 (10.1)	36,654 億円 (34.0)	44
肉用牛	8 億円	7,861 億円	45
乳用牛	8 億円	10,035 億円	46
生乳	8 億円	8,937 億円	46
豚	3 億円	7,567 億円	43
鶏	41 億円	10,170 億円	37
鶏卵	38 億円	5,764 億円	32
ブロイラー	2 億円	4,259 億円	37 *
その他畜産物	0 億円	1,021 億円	46
加工農産物	1 億円	565 億円	34

出典: 「令和6年農業総産出額及び生産農業所得(全国)」、「令和6年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」  
注: ( ) は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方  
 ・令和8年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用  
 ・表中に使用した記号は次のとおり  
 「O」: 単位に満たないもの(例:0.4t→0t)  
 「-」: 事実のないもの  
 「…」: 調査を欠くもの  
 「x」: 秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。  
 「\*」: 秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

# 福井県の農業（2）

- ・耕地面積は3万9,500haで全国33位。うち田が3万5,800ha、畑が3,660ha。
- ・農業経営体数は7,772経営体で全国44位。うち法人経営体数が443経営体で33位。
- ・国、市町村認定及び都道府県認定経営体数は1,114経営体で全国43位。うち法人数が429法人で30位。
- ・農業生産関連事業は、農家民宿の年間販売（売上）金額が1億円で全国13位、農業経営体数は10経営体で20位。

## 耕地面積

区分	福井県	全国	全国順位
耕地面積	39,500 ha	4,272,000 ha	33
田	35,800 ha	2,319,000 ha	27
畑	3,660 ha	1,952,000 ha	45
普通畑	2,610 ha	1,118,000 ha	42
樹園地	777 ha	248,600 ha	45
牧草地	267 ha	585,900 ha	30
参考) 総土地面積	4,190.56 km <sup>2</sup>	377,979.74 km <sup>2</sup>	35

出典：「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和8年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

## 荒廃農地面積

区分	福井県	全国	全国順位
荒廃農地面積	678 ha	256,667 ha	43

出典：「令和6年度の荒廃農地面積(令和7年3月31日現在)」

## 農業経営体数、農家数及び集落営農数

区分	福井県	全国	全国順位
農業経営体数	7,772 経営体	836,054 経営体	44
法人経営体数	443 経営体	33,819 経営体	33
総農家数	12,494 戸	1,394,135 戸	45
販売農家数	7,001 戸	792,808 戸	44
参考) 世帯総数	291,662 世帯	55,830,154 世帯	45
集落営農数	560 集落営農	13,952 集落営農	9

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和7年集落営農実態調査結果(令和7年2月1日現在)」

## 担い手への農地の集積状況

区分	福井県	全国	全国順位
担い手への集積面積	27,753 ha	2,627,068 ha	22
集積率	70.3 %	61.5 %	6

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和6年度版)」

## 基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区分	福井県	全国	全国順位
基幹的農業従事者数	5,809 人	1,036,228 人	47
男	4,134 人	659,332 人	47
女	1,675 人	376,896 人	46
65歳以上	4,740 人	721,311 人	44
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	81.6 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	1,114 経営体	212,136 経営体	43
法人数	429 法人	29,684 法人	30
参考) 人口総数	766,863 人	126,146,099 人	43

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和7年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

## 農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区分	福井県	全国	全国順位	
農産加工	総額	3,527 百万円	1,006,107 百万円	45
	事業体数	290 事業体	26,910 事業体	38
農産物直売所	総額	9,224 百万円	1,134,381 百万円	44
	事業体数	110 事業体	20,960 事業体	45
観光農園	総額	162 百万円	39,113 百万円	41 *
	農業経営体数	30 経営体	4,350 経営体	37
農家民宿	総額	104 百万円	4,933 百万円	13 *
	農業経営体数	10 経営体	770 経営体	20
農家レストラン	総額	364 百万円	39,900 百万円	37 *
	事業体数	20 事業体	1,390 事業体	23

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

# 福 井 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は15.8億円で全国41位。うち木材生産が11.2億円、栽培きのご類生産が4.4億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が全国34位、おうれんが全国1位、あかまつ・くろまつが15位。

## 林業産出額

区 分	福 井 県	全 国	全国順位
林業産出額	15.8 億円	4,769.8 億円	41
木材生産	11.2 億円	2,369.4 億円	36
栽培きのご類生産	4.4 億円	2,322.7 億円	41

出典：「令和6年林業産出額」

## 林野面積

区 分	福 井 県	全 国	全国順位
林野面積	310,105 ha	24,744,214 ha	30
国有林	37,252 ha	7,117,059 ha	23
民有林	272,853 ha	17,627,155 ha	27
人工林面積	123,694 ha	10,059,386 ha	34

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

## 林業経営体数

区 分	福 井 県	全 国	全国順位
林業経営体数	241 経営体	23,300 経営体	33
法人経営体数	35 経営体	3,813 経営体	37

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

## 林産物の生産状況

区 分	福 井 県	全 国	全国順位
素材生産量	114 千m <sup>3</sup>	19,763 千m <sup>3</sup>	34
針葉樹	113 千m <sup>3</sup>	18,398 千m <sup>3</sup>	34
あかまつ・くろまつ	2 千m <sup>3</sup>	459 千m <sup>3</sup>	15
すぎ	96 千m <sup>3</sup>	11,716 千m <sup>3</sup>	28
広葉樹	1 千m <sup>3</sup>	1,365 千m <sup>3</sup>	43
たけのこ	生産量 100 t	20,865 t	21
なめこ	生産量 21 t	23,874 t	18 *
おうれん	生産量 1 t	1 t	1
薪	生産量 1,098 層積m <sup>3</sup>	99,161 層積m <sup>3</sup>	20

出典：「令和6年木材統計」、「令和6年特用林産基礎資料」

## 製材工場数

区 分	福 井 県	全 国	全国順位
製材工場数	92 工場	3,547 工場	14
製材用素材の入荷があった工場数	92 工場	3,492 工場	14
国産材のみ	81 工場	3,013 工場	16
国産材と輸入材	11 工場	386 工場	11

出典：「令和6年木材統計」

# 福井県の水産業

- ・漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は90億円で全国34位。
- ・水産物の生産状況は、海面漁業のさわら類が全国2位、ずわいがにが3位、海面養殖業のふぐ類が10位、内水面養殖業のにじますが9位。
- ・漁業生産関連事業は、漁家民宿の年間販売（売上）金額が12億円で全国1位、漁業経営体数は100経営体で1位。

## 漁業産出額

区分	福井県	全国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	90億円	14,785億円	34
海面漁業	85億円	8,894億円	26*
海面養殖業	5億円	5,891億円	30*

出典：「令和6年漁業産出額」

## 漁業経営体数

区分	福井県	全国	全国順位
海面漁業経営体数	648経営体	65,662経営体	30
内水面漁業経営体数	48経営体	4,076経営体	23

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

## 漁業就業者数

区分	福井県	全国	全国順位
海面漁業就業者数	1,060人	121,389人	31
男	1,004人	109,757人	31
女	56人	11,632人	27

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

## 漁船隻数

区分	福井県	全国	全国順位
漁船隻数	975隻	109,284隻	30
動力漁船	587隻	58,907隻	30

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

## 水産物の生産状況

区分	福井県	全国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	10,302 t	3,589,121 t	34*
海面漁業漁獲量	10,055 t	2,786,195 t	33
さわら類	837 t	9,557 t	2
ずわいがに	466 t	2,387 t	3*
海面養殖業収穫量	247 t	802,927 t	34*
ふぐ類	49 t	2,758 t	10*
内水面漁業・養殖業生産量	194 t	47,046 t	28*
内水面漁業漁獲量	26 t	17,915 t	24
あゆ	26 t	1,414 t	10
内水面養殖業収穫量	168 t	29,131 t	22
にじます	165 t	5,202 t	9

出典：「令和6年漁業・養殖業生産統計」

## 漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区分	福井県	全国	全国順位	
水産加工	総額	122百万円	193,147百万円	38
	事業体数	10事業体	1,160事業体	24
水産物直売所	総額	238百万円	34,259百万円	27*
	事業体数	10事業体	780事業体	18
漁家民宿	総額	1,234百万円	5,440百万円	1*
	漁業経営体数	100経営体	540経営体	1
漁家レストラン	総額	209百万円	13,511百万円	19*
	事業体数	10事業体	380事業体	8

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

# 福井県の農林水産業の話題等（1）

福井県では、令和6年3月に「次世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境計画」を策定し、県民やふくいを訪れる人々を巻き込み、希望あふれるふくいの食・農・環境の実現を目指している。目標達成に向けて、「農業者」「農村住民」「ふくいを訪れる人、県民」を対象とし、『4K（希望あふれる、かっこいい、稼げる、感動）農業の展開』、『人々の笑顔があふれるふくいの農村づくり』、『ふくいの食・農・農村への思い、憧れの醸成』の3つの柱を中心に施策を展開していく。

## 人々の笑顔があふれるふくいの農村づくり

### ①農村コミュニティの活性化

農産物や食文化等の地域資源の活用による農村集落の新たなチャレンジを応援し、農村RMO※の立上げ・運営の支援を行い、住民がイキイキと暮らすモデル集落を育成していく。

むらまつり等の集落イベントの開催応援、観光農園やワイナリー等の農村の魅力を知ってもらう「体感スポット」を整備し、農村住民のふるさとに誇りをもつ意識を醸成していく。  
※農村RMO[農村型地域運営組織（Region Management Organization）]

### ②集落営農を次世代へ継承

JAと市町と県が一体的に「集落営農救援隊」を組織し、改善計画（作付計画等）を指導し作業の省力化や労務環境の改善による人材確保など持続可能な組織にすることで集落営農組織の立て直しと経営力を強化していく。

農業高校等へのリクルート活動の強化やスマート農業の研修会の開催を通じて、外部人材や地域の中から人材を発掘し若い世代や多様な担い手を育成していく。

### ③中山間地域の農村経営を守る

畦畔法面の緩傾斜化や傾斜地の等高線方向に合わせた区画形状等、地形に逆らわない低コストな区画整理など地形条件に合わせた基盤整備を行っていく。

営農を続けて守るべき農地（活用）と粗放的利用を行う農地（保全）をゾーニングし、耕作放棄地の発生を抑制していく。

### ④地域を守る鳥獣害・防災減災対策

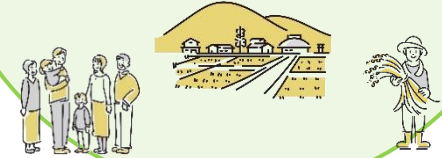
「鳥獣害対策コーディネーター」を配置し、地域に密着した指導を行い、市町と連携し、地域ぐるみで鳥獣害対策に取り組むモデル集落を育成していく。また、電気柵の遠隔監視システムやICT捕獲通報システム等のスマート技術を活用し、人口減少・高齢化に対応した鳥獣害対策を実施していく。

土地改良施設（ため池）の点検・監視等による計画的な補修・更新や田んぼダムの推進により、農村地域の防災・減災機能の向上を図っていく。

人々の笑顔があふれる  
ふくいの農村づくり

## <農村住民>

- ① 農村コミュニティの活性化
- ② 集落営農を次世代へ継承
- ③ 中山間地域の農村経営を守る
- ④ 地域を守る鳥獣害・防災減災対策



### ③中山間地域の農村経営を守る （農地のゾーニング）



ICT捕獲通報システム

### ④地域を守る鳥獣害・防災減災対策

# 福井県の農林水産業の話題等（2）

## Fukui Forest Design推進プロジェクト

福井県では、令和7年3月に『ふくい森林・林業の未来を切り拓く基本計画』を策定し、地域を支える、稼げる林業を目指し、①Fukui Forest Design推進プロジェクト②森を「守り」「活かし」「慈しむ」推進プロジェクトにより施策を進めていく。

このうち、①Fukui Forest Design推進プロジェクトにおける「県産材の需要拡大」については、次のような取組を行っていく。

- 加工工場の誘致や産業用資材（トラック荷台の床材等）など新たな分野における商品開発、不燃や防腐などふくいの技を活かした高付加価値製品の生産・販売の拡大に取り組む。
- 製材所や家具建具事業者等と商社が連携し、都市圏や台湾など海外での販路開拓に取り組む。
- 木育を進める団体等と連携した「ふくいの木づかい運動」の実施や木材利用の理解と関心を深める体験型イベント「フクモクフェス」の開催を通じ、県産材利用に対する意識を醸成していく。



県産材を活用したトラック床材



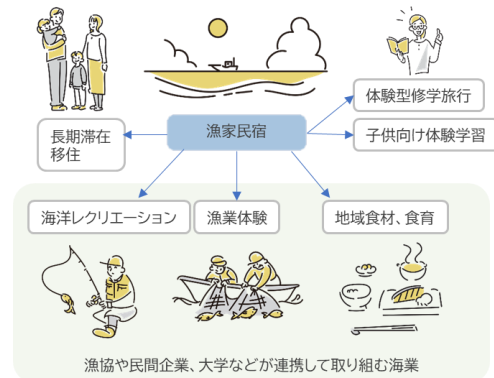
フクモクフェスの様子

## 魅力あふれる漁村コミュニティづくり

福井県では、令和7年3月に『地域とともにふくいの水産業のあしたに架ける基本計画』を策定し、持続可能な魅力あふれる稼げる水産業を目指し、①漁業経営基盤の強化②地域活性化の強化③市場開拓とブランド化の強化を実践していく。

このうち、②地域活性化の強化については、漁港の地域資源を活用した活力ある漁村づくりや災害リスクに対する生産拠点等の主要施設の機能強化に向けて、次のような取組を行っていく。

- 漁家民宿を拠点としたブルー・ツーリズムや漁港を活用した交流の場を創出することで「賑わいを創出する「海業」の推進」を図っていく。
- 水産資源の保護や海や河川等の環境保全の大切さを普及啓発するため、全国豊かな海づくり大会を開催（令和10年）する。
- 産地市場の集約化や流通拠点漁港における荷さばき施設の整備を行い、各地域の実態にあわせた市場の統合整備を推進していく。
- 岸壁の耐震化など災害に強い漁港づくりの推進や持続可能なインフラ管理を行い、気候変動や災害リスクをふまえた漁港機能に強化していく。



海業の推進イメージ



衛生管理型荷さばき施設